

奇跡だった高2 修学旅行

今年で15回目を迎えた高2の沖縄修学旅行。今までは、台風を何とかかいくぐりながら行ってこれたのですが、ご存知のように、出発日の10月7日(日)は台風25号が函館に直撃する日で、さすがに厳しいかなと思っていました。

まず、遺愛生の乗る飛行機の函館空港出発時刻が午前9時15分でしたが、天気予報では、台風25号が函館をおそう予定時刻が午前9時でした。真剣に大ピンチでした。どの位の規模で台風が函館を襲うのかは皆目見当がつかず、日本海から函館に、実際に台風が上陸してみなければその勢力はわかりませんでした。5日金曜日の旅行業者とのやりとりでは、この9時15分に飛行機が飛ばなければ、この修学旅行は中止で、再び実施するとしたら来年の3月の春休みになるだろうということでした。仮に飛んでも、乗り継ぎの羽田から沖縄の那覇に向かう飛行機の離陸は11時20分で、その間は羽田到着から40分間しかありませんでした。実は、飛行機が遅れて飛んでもダメだったのです。台風25号の通過を待って落ち着いてから飛んでも到着が11時20分を過ぎると、那覇行きの飛行機は待ってくれません。それ以降の那覇行きの飛行機で行けるかということ連休中は満席で、その後の便に遺愛生は乗れないということもわかっていました。

とにかく9時15分に出発できなければなりません。朝6時くらいは結構、雨風が強かったようです。私はその日は、所用で横浜に行っていたのですが、朝の4時ころから10分おきにスマホで、台風25号の動き、函館の天気の様子、飛行機の運行状況についてチェックしていましたが、本当に厳しい状況でした。

私も真剣に神様に祈りました。台風が函館をそれるように、大きな被害がなく、もっと早く通り過ぎるように、さもなくば、う~んと勢力が弱まってくれないかと願い、祈っていました。おそらく、高2の生徒の皆さんも真剣に祈っていたと思います。この時の様子は、時系列に写真付きで遺愛のホームページに「修学旅行第1日目」という題で出ていますので、ぜひ見て下さい。

その時の天気予報図、寮生が寮をスクールバスで出発する時の様子、寮母さんの不安そうな見送りの姿、空港の出発式のお祈りの様子、ギリギリで出発が決まり、おおいに喜んでる様子。羽田空港に無事着いた時のはしゃぐ姿が載っています。この時は、高2の皆さん、神様が奇跡を起こし、本当に自分達の祈りを聞いて下さったと感じた人が多かったと思います。それから沖縄は全日天気にも恵まれていたとのことでした。

教頭先生、学年主任、旅行会社の方々の報告を聞くと、高2の皆さんは修学旅行中とても立派で、時間をきちんと守り、挨拶や感謝もきちんとできていたとのこと。一生の思い出に残る修学旅行になったことと思います。



2018年10月15日(月)